

ドロップジャンプ計測 使用手引書

V1.10d 2022. 11. 22

(株)フォーアシスト

目次

1. 機能概略
2. 動作環境・注意事項
3. ソフトウェアのインストール・アンインストール・起動・終了方法
4. 画面遷移
5. ソフトウェアの画面毎の説明
6. 入出力ファイルの説明

1. 機能概略

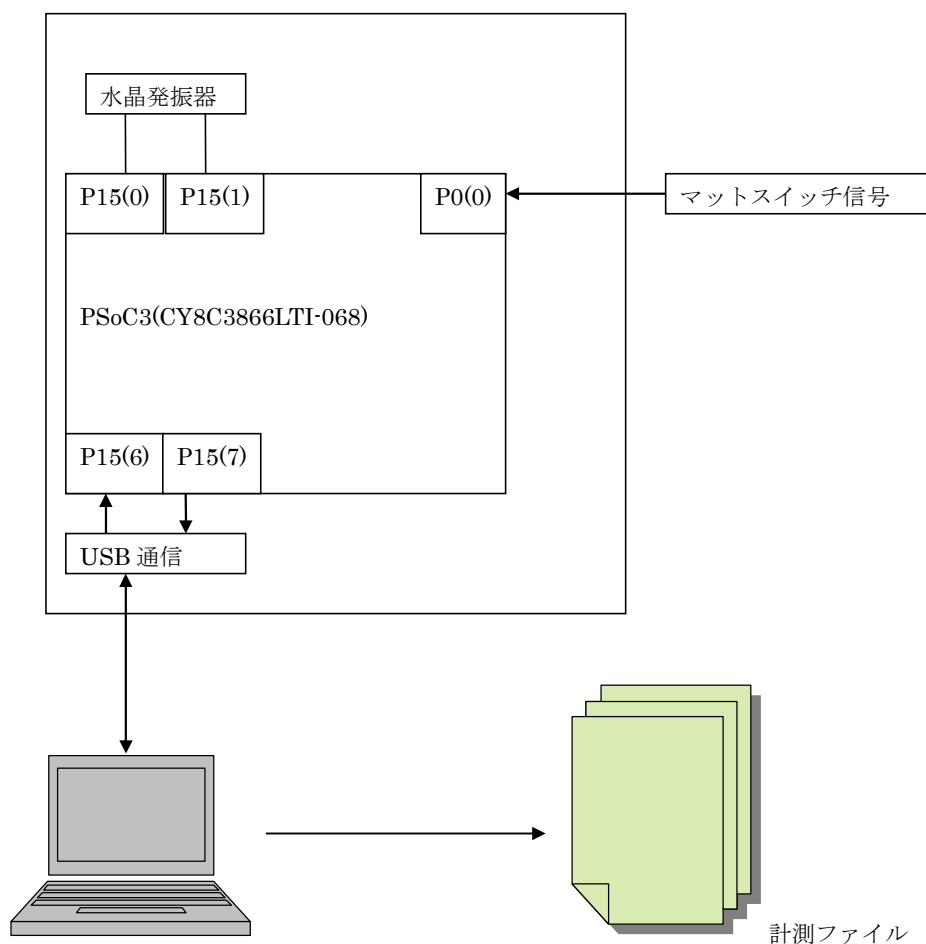
本システムは、専用のタイム計測装置にマットスイッチをつなぎ、ドロップジャンプの接地時間と滞空時間と再接地時間を繰り返し計測するものです。精度は μ 秒です。1回のジャンプの接地時間と滞空時間から求められる、接地滞空比、跳躍高、D J 指数、パワー（体重が必要）を計算し、各種統計情報を画面上に表示します。計測結果を csv ファイルに保存できます。以下に測定する上での注意点を示します。

- 測定は台の上からマットスイッチに飛び降り、その場で垂直ジャンプを1回行います。
- ドロップジャンプの計算方法

跳躍高 $= (1/8) * (\text{重力加速度 } g) * (\text{滞空時間}) * (\text{滞空時間})$

D J 指数 $= (\text{跳躍高}) / (\text{接地時間})$

パワー $= (\text{体重}) * (\text{重力加速度 } g) * (\text{D J 指数})$



【全体構成図】

2. 動作環境・注意事項

- 動作環境は以下の通りです。

OS : Windows10

画面サイズ : 1024×768pixel 以上

接続ポート : USB ポート

開発言語 : VisualStudio2017 Visual C++, PSoC Creator 2.0

- 構成品 :

①タイムカウンタ装置

②マットスイッチ装置

③ライセンス管理用 USB ドングル

④インストール CD-ROM

- 注意事項を以下に示します。

①パソコン電源立ち上げ時にタイムカウンタ装置がUSB接続されていると、タイムカウンタ装置を認識しません。タイムカウンタ装置が認識されない場合は、一度USBケーブルを抜いて、少し時間をおいてから、USBケーブルを挿しなおしてください。

②データ計測中にUSBケーブルを抜かないでください。パソコンの挙動が不安定になる場合があります。

3. ソフトウェアのインストール・アンインストール・起動・終了方法

●インストール方法

①インストールCDをCDドライブに入れると自動的にプログラムが起動します。自動起動しない場合は、インストールCDを開き、「SetupDrop.msi」を実行します。以前のバージョンがインストールされているマシンの場合は、削除後にインストールを行います。

②インストーラに従ってインストールを行います。選択時は「はい」を選んでください。

●アンインストール方法

①「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」で、アンインストールしてください。プログラム名は「DropJumpTimer」です。

●インストール先フォルダ

【Win10(32bit)】

Program Files¥4assist¥DropJumpTimer¥DropJumpTimer4a.exe

Users¥< ユーザー名 ¥ザ ユーザー名

>¥AppData¥Roaming¥4assist¥DropJumpTimer¥DropJumpTimer.ini

【Win10(64bit)】

Program Files (x86)¥4assist¥DropJumpTimer¥DropJumpTimer4a.exe

Users¥< ユーザー名 ¥ザ ユーザー名

>¥AppData¥Roaming¥4assist¥DropJumpTimer¥DropJumpTimer.ini

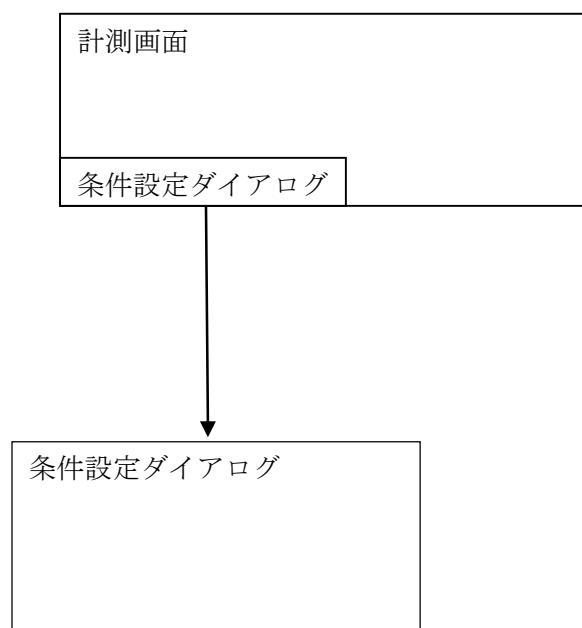
●起動方法

デスクトップの「ドロップジャンプ計測」または、スタートメニューから「すべてのプログラムー4assistードロップジャンプ計測ードロップジャンプ計測」を選択してプログラムを起動します。

●終了方法

ソフトウェアの最初の画面で終了ボタンを選択すると、ソフトウェアが終了します。

4. 画面遷移



【画面構成図】

4-1. 通常操作手順

- ①ライセンス管理用 USB ドングルをP Cにつなげます。
- ②P Cとタイムカウンタ装置を USB 接続します。
- ③最初に1回だけドロップジャンプ計測ソフトウェアをインストールします。(3 参照)
ドロップジャンプ計測ソフトウェアを起動します。自動で現れる条件設定ダイアログで条件を指定します。
- ④被験者に所定の場所に立ってもらいます。
- ⑤被験者にドロップジャンプをしてもらいます。良ければ次計測(F12 キー)を押し、失敗したらやり直し(F1 キー)を押します。
- ⑥必要な回数の計測が終わったら、計測結果の保存を行います。
- ⑦被験者を交代します。条件設定ダイアログで条件を指定します。⑤に戻る。
- ⑧ドロップジャンプ計測ソフトウェアを終了します。
- ⑨タイムカウンタ装置をP Cから外します。
- ⑩ライセンス管理用 USB ドングルをP Cから外します。

5. ソフトウェアの画面毎の説明

ドロップジャンプ計測ソフトウェアを起動します。「5－1. 計測画面」が現れます。

5－1. 計測画面

画面上部に「5－2. 条件設定ダイアログ」で入力した、被験者情報を表示します。

画面中部は、「5－2. 条件設定ダイアログ」で選択した、各種折れ線グラフと現在値を表示します。

画面下部は、統計情報を表示します。



●ファイル(F)メニュー

①ファイル(F)-計測結果の読み込み(R)... ファイル指定ダイアログが現れ、指定したファイルの計測結果を表示します。

②ファイル(F)-計測結果の保存(S)... ファイル指定ダイアログが現れ、指定したファイルに計測結果を出力します。【ツールバー有】

③ファイル(F)-アプリケーションの終了(X) アプリケーションを終了します。

●設定(S)メニュー

設定ダイアログを表示し、各種設定を行います。

①設定(S)-条件設定ダイアログ(C)... 「5－2. 条件設定ダイアログ」に移動します。

【ツールバー有】

②設定(S)-次計測(F12) 今回の計測を確定し、次の計測を開始します。

③設定(S)-やり直し(F1) 今回の計測を破棄し、計測をやり直します。

●ヘルプ(H)メニュー

①ヘルプ(H)-バージョン情報 DropJumpTimer4a(A)... バージョン情報を表示します。

5-2. 条件設定ダイアログ

条件設定ダイアログ

被験者番号: 1

被験者名: aaa

被験者体重(kg): 50.00

試技番号: 1

測定回数: 10

台の高さ(cm): 10

☒ 滞空時間のグラフレンジ: ☒ オートスケール / ☐ マニュアル -10.00 ~ 10.00

☒ 跳躍高のグラフレンジ: ☒ オートスケール / ☐ マニュアル -10.00 ~ 10.00

☒ 現在値の表示: フォントサイズ: 25

☒ 全測定跳躍高の表示: フォントサイズ: 25

☒ 統計情報の表示: フォントサイズ: 10

OK キャンセル

●被験者番号

キーボードから被験者番号を入力します。

●被験者名

キーボードから被験者名を入力します。

●被験者体重(kg)

キーボードから被験者体重を入力します。パワーを求めるために利用します。

●試技番号

キーボードから試技番号を入力します。

●測定回数

測定する時の上限を、測定回数で指定します。

●台の高さ(cm)

最初に乗る台の高さを入力します。

●滞空時間のグラフレンジ

計測画面に滞空時間のグラフを表示する場合は選択します。

◎グラフレンジ

グラフ縦軸レンジを、オートスケール／マニュアルで指定します。

●跳躍高のグラフレンジ

計測画面に跳躍高のグラフを表示する場合は選択します。

◎グラフレンジ

グラフ縦軸レンジを、オートスケール／マニュアルで指定します。

●現在値の表示

計測画面に現在値を表示する場合は選択します。

◎フォントサイズ

現在値を表示するフォントサイズを指定します。

●全測定跳躍高の表示

計測画面に全測定跳躍高を表示する場合は選択します。

◎フォントサイズ

全測定跳躍高を表示するフォントサイズを指定します。

●統計情報の表示

計測画面に統計情報を表示する場合は選択します。

◎フォントサイズ

統計情報を表示するフォントサイズを指定します。

●OKボタン

タイムカウンタ装置がPCに繋がっているかを確認して、「5－1．計測画面」に戻ります。

●キャンセルボタン

変更を更新せずに「5－1．計測画面」に戻ります。

6. 入出力ファイルの説明

6-1. ini ファイル

名称 : DropJumpTimer.ini

ファイル形式 : ASCII 文字

アクセス : 計測画面から I N+O U T

1 行目	バージョン番号(#V1.00.01)
2 行目	ポート番号(ポート番号:1)
3 行目	ボーレート(ボーレート:9600)
4 行目	パリティ(パリティ:0)
5 行目	ストップビット(ストップビット:0)
6 行目	データビット(データビット:8)
7 行目	フロー制御(フロー制御:0)
8 行目	被験者番号(被験者番号:1~)
9 行目	被験者名(被験者名:任意)
1 0 行目	被験者体重(kg)(被験者体重(kg):1~)
1 1 行目	試技番号(被験者試技番号:1~)
1 2 行目	計測回数(計測回数:1~)
1 3 行目	スタート信号エッジモード 1(計測パルスのエッジモード 1:1)
1 4 行目	接地のエッジモード 2(計測パルスのエッジモード 2:1)
1 5 行目	離地のエッジモード 3(計測パルスのエッジモード 3:2)
1 6 行目	測定回数(測定回数:1~)
1 7 行目	台の高さ(台の高さ(cm):0~)
1 8 行目	自動リセットフラグ(自動リセットフラグ:true/false)
1 9 行目	抜重キャンセル時間(ms)(抜重キャンセル時間(ms):1~)
2 0 行目	グラフ数(グラフ数:2)
2 1 行目	グラフフラグ 1(グラフフラグ 1:true/false)
2 2 行目	グラフレンジタイプ 1(グラフレンジタイプ 1:1:オートスケール/2:マニュアル)
2 3 行目	マニュアルグラフレンジ上 1(グラフレンジ上 1:)
2 4 行目	マニュアルグラフレンジ下 1(グラフレンジ下 1:)
2 5 行目	グラフフラグ 2(グラフフラグ 2:true/false)
2 6 行目	グラフレンジタイプ 2(グラフレンジタイプ 2:1:オートスケール/2:マニュアル)
2 7 行目	マニュアルグラフレンジ上 2(グラフレンジ上 2:)
2 8 行目	マニュアルグラフレンジ下 2(グラフレンジ下 2:)
2 9 行目	現在値表示フラグ(現在値表示フラグ:true/false)

3 0 行目	現在値表示フォントポイント(現在値表示フォントポイント:25)
3 1 行目	全測定跳躍高表示フラグ(全跳躍高表示フラグ:true/false)
3 2 行目	全測定跳躍高表示フラグフォントポイント(全跳躍高表示フラグフォント ポイント:10)
3 3 行目	統計情報表示フラグ(統計情報表示フラグ:true/false)
3 4 行目	統計情報表示フォントポイント(統計情報表示フォントポイント:10)
3 5 行目	フォント名称(フォント名称:MS Pゴシック)

6-2. 計測ファイル

名称：任意.csv

ファイル形式：ASCII 文字

アクセス：計測画面から I N+O U T

1 行目	バージョン番号(#V1.00.01)
2 行目	計測開始時刻(計測開始時刻, 年/月/日 時:分:秒)
3 行目	被験者番号(被験者番号,)
4 行目	被験者名(被験者名,)
5 行目	被験者体重(kg)(被験者体重(kg),)
6 行目	被験者試技番号(被験者試技番号,)
7 行目	台の高さ(台の高さ(cm),)
8 行目	(空行)
9 行目	統計値タイトル(名称,,,接地時間,滞空時間,接地滞空比,跳躍高,D J 指数, パワー,)
1 0 行目	統計値単位(,,, (sec), (sec), (%), (cm),, (W),)
1 1 行目	平 均 値 (平 均,,,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,)
1 2 行目	標 準 偏 差 (標 準 偏 差,,,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,)
1 3 行目	最大値(,,,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,)
1 4 行目	最大値位置(最大値位置,,,0,0,0,0,0,0,)
1 5 行目	最 小 値 (最 小 値,,,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,0.000000,)
1 6 行目	最小値位置(最小値位置,,,0,0,0,0,0,0,)
1 7 行目	(空行)
1 8 行目	データ数(データ数,)
1 9 行目	測定値タイトル(No.,着地時間,離地時間,再着地時間,接地時間,滞空時間, 接地滞空比,跳躍高,D J 指数,パワー,)
2 0 行目	測定値単位(, (sec), (sec), (sec), (sec), (sec), (%), (cm),, (W),)
2 1 行目	測定値 1
:	:
:	:

V1.10d

ツールバーの表示／非表示メニューを「ヘルプ(H)－Toolbarの表示(T)」に追加しました。

V1.10c

表示上とロジック上の不具合に対応。

V1.10b

表示上の不具合に対応。

V1.10a

表示上の不具合に対応。

V1.10

タイムカウンター共通装置に対応 (USB接続専用)
対象装置チェックを追加。
セキュリティドングル機能追加

V1.00

初版発行